

以文社

新刊のご案内

07月14日(取次搬入)発売予定!

桑田 学 著

# 経済的思考の転回

世紀転換期の科学と統治をめぐる知の系譜

Epistemology of Economics

— 市場経済論のオルタナティブ —

新自由主義といわれる現代の経済理論の中心は、すべてを商品化して計量する、いわゆる市場理論と言われるものです。この理論の創始者はF. A. ハイエクですが、彼の理論形成の時期は20世紀の発端の第一次と第二次の世界戦争の間でした。

この時期は19世紀後半以降の熱学思想の進展が、ニュートン力学を基礎とする自然認識の根本的な変革を迫った世界認識の大転換の時期で、その影響を真正面から受け留めた経済思想を考えた人が本書の中心テーマのオットー・ノイラートです。彼の資源・エネルギーを含めた人間の生存条件を踏まえた統治の経済思想を、ハイエクの市場理論との比較を通じて明らかにする経済学史上の再発見です。

桑田 学 (くわた まなぶ)

1982年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。

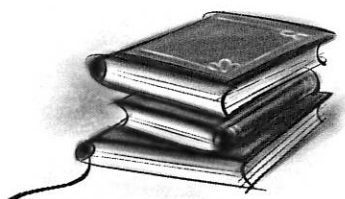
現在、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員および東洋大学ほか非常勤講師。

主論文:「持続可能性の規範理論の基礎—福祉・代替・資本」(『歴史と経済』208号、2010年)。

「自然の有限性と自由主義の転回」宇野重規・井上彰・山崎望編『実践する政治哲学』

(ナカニシヤ出版、2012年)。

「自然—経済にとって自然とは何か」橋本努編『現代の経済思想』(勁草書房、近刊)、他



## 【目次】

序

第一章 生物経済学(バイオエコノミクス)の源流

第二章 自然経済の理論—オットー・ノイラートの経済思想

第三章 経済的統治の論法—エコノミーからカタラクシーへ

第四章 オイコノミアと自然の理法

結び

四六判 上製カバー装 320頁 本体価格:3,000円 (定価:3,240円)

希望陳列コーナー:現代思想・政治経済学

以文社 ISBN 978-4-7531-0320-1 C0010 本体価格:3,000円 (定価:3,240円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<b>経済的思考の転回</b> 世紀転換期の科学と統治をめぐる知の系譜 桑田 学 著

※指定配本の都合上7月7日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

101-0051 千代田区神田神保町2-12 FAX:03-6272-6538 TEL:03-6272-6536 <http://www.ibunsha.co.jp/>